

No.

87

鳥取県高P連会報

Contents

- ☐ 高P連会長挨拶…………… 1
☐ 大きく変わる！
 日本の教育改革…………… 2
☐ 平成30年度総会報告…………… 3
☐ 研修会のご案内・シンボルマーク決定
 県立高校PTA会長・校長名簿…………… 4
☐ PTA活動紹介
 青谷高校・米子工業高校…………… 5
☐ 第68回全国高P連大会佐賀大会報告…………… 6

発行所 / 鳥取市扇町 21
 県民ふれあい会館内
 鳥取県高等学校 PTA 連合会
 TEL / 0857-27-0730 FAX / 0857-27-0739
 E-mail / tori-kop@gamma.ocn.ne.jp



「ご挨拶」

鳥取県高等学校PTA連合会会長 西川 昌孝
 (鳥取県立鳥取西高等学校PTA会長)

平成30年度鳥取県高等学校PTA連合会会長を拝命致しました鳥取西高等学校PTA会長の西川昌孝でございます。会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日頃から鳥取県高等学校PTA連合会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り、誠に有難うございます。県連会長としての重責を感じておりますが、会員の皆さまのお役に立てますよう、県連副会長、役員、各学校の校長先生方、事務局の皆様と共に、力を合わせて活動して参ります。

また、中国・四国地区高等学校PTA連合会副会長をも拝命致しました。中国・四国9県のPTA連合会から幅広く情報を集め、鳥取県の高校生の為に役に立ちたく、尽力する所存であります。どうぞ、更なるご支援を賜りますようお願い申し上げます。

携帯電話、タブレット端末、インターネットを無制限で使える時代、多様な働き方と雇用形態、AI、性別における価値観の多様化、大学入試制度改革、約140年ぶりの成人年齢引下げなどは、私達が高校生だった時にはなかったもの

ばかりです。これは単に事象として起こっていることではなく、社会システム、社会環境を大きく変化させるものと認識しなければなりません。

私達はそんな社会環境の変化を、大きくそして急激に感じます。一方で、子ども達はそうは感じていない様です。私達は一定の期間、この時代を子ども達と共有・経験しますが、子ども達は更に新しく違う時代を生きて行くのです。

私達は、子どもには幸せになって欲しいとも望むものです。幸せの価値観はいつの時代も移り変わり、多様化するのですが、これほど大きな変化の中では、私達が理解できないこともあるかもしれません。

しかしながら、いつの時代も「人間としての普遍的な幸福」には変わりがないでしょう。私達は親として、人生の先輩として、一人の人間として、生き方や価値観をしっかり伝えられれば、子ども達は、自らの力で新しい多様な価値観を生み出し、未来を切り拓き、逞しく、より良い社会を作ってくれることと思います。

子ども達である高校生は、極め

て近い将来に、私達と同じ社会を構成する大切な存在です。高校3年生は主権者として選挙権を得て、この社会の意思決定に参加してきます。成人年齢引下げが決まり、高校生は直ぐに社会人となります。

未来を作る子ども達は、言わば未来から現在にきた留学生とも言えます。私達はその留学生を人格形成し、社会に送り出す責任と義務があります。そして、この高校の3年間は社会に出て行く子ども達へ、私たちの価値観を伝える最後の時期と言えます。残された時間を最大限に使う為に、学校・家庭・地域を取り込んでください。子ども達は、学校では先生方に教える乞い、家庭では親と共に育ち、最も身近な社会である地域では、活動に参加し学ぶことにより、社会での役割と責任を自覚できる様になる筈です。

PTAは同じ年齢の子どもをもつ同じ世代の保護者の集まりであり、その中には生徒のみならず保護者をも導いてくださる先生方(学校)がいっぱいいます。勿論、その中でも価値観の違いはきつとあることでしょう。しかし、子ども達が幸せになつてくれることを望まない保護者・先生はいません。

どうぞ素晴らしい各校PTAをご活用ください。私達の子どもである鳥取県内の高校生の為に、鳥取県高等学校PTA連合会へのご支援を重ねてお願い申し上げます。

大きく変わる！

日本の教育改革

鳥取県教育委員会事務局高等学校課

現在、文部科学省では、変化の激しい時代の中で新たな価値を創造していく力を育成するために、高校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体的な改革（「高大接続改革」）を進めています。

県教育委員会としても、子どもたちが将来社会で活躍していける力を身に付けるため、この改革に対応した取組を進めています。

1 どのような改革が起こるのか
 (1) 学校教育が変わる⇒新学習指導要領へ

①時期
 平成34年度入学生から年次進行で実施予定

②主なポイント

【何ができるようになるか】

大きなポイントは、子どもたちにどのような力（資質・能力）を身に付けさせるのか、つまり「何ができるようになるか」というところまで踏み込んでいる点です。これまでは、学力という「学んだことをきちんと理解しているか」（知識・技能）の評価が大きなウェイトを占めていましたが、これからは、知識や技能を習得するだけではなく、それをもとに自分で考え、判断し、表現すること（思

考力・判断力・表現力）、実際の社会に役立てることが求められます。

【どのように学ぶか】

もう一つの大きなポイントは、どのように学ぶか、ということにも言及している点です。新学習指導要領には、「主体的・対話的で深い学び」というキーワードが出てきます。この「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、アクティブ・ラーニングの視点からの授業改革などが求められています。

(2) 大学入試が変わる⇒大学入試センター試験から大学入学共通テストへ

①時期

平成32年度に実施される大学入試から実施（現在の高校1年生から受験）

②特徴

【記述式問題の導入】

「知識・技能」だけでなく、「思考力・判断力・表現力」を一層重視。

（現行）

全てマーク式問題

（平成32年度）

「マーク式問題」＋「国語」「数学」で一部「記述式問題」を出題

【英語4技能の重視】

（現行）

「聞く」「読む」の2技能を測るマーク式問題

（平成32年度）

「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を測る民間の資格・検定試験で実施

※平成35年度までは、各大学の判断で、今の大学入試センター作成の共通テストと資格・検定試験のいずれか、または双方を利用。

【個別大学試験における学力の3要素の「多面的・総合的評価」】

学習面だけに限らない高校での活動履歴（部活動、表彰・顕彰、資格・検定など）を評価する方針が打ち出されているため、様々な体験や活動の記録（ポートフォリオ）を

「高大接続改革」の必要性

- 国際化、情報化の急速な進展
→ 社会構造も急速に、かつ大きく変革。
- 知識基盤社会のなかで、新たな価値を創造していく力を育てることが必要。
- 社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」をバランスよく育むことが必要。

「学力の3要素」を多面的・総合的に評価する
大学入学者選抜

高校教育・大学教育・大学入学者選抜の一体的改革

高大接続改革

「学力の3要素」を育成する
高校教育

「学力の3要素」を更に伸ばし
 社会に貢献!! 目指す
大学教育

- 【学力の3要素】
- ① 知識・技能の確実な習得
 - ② 思考力、判断力、表現力
 - ③ 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

※文部科学省の資料を元に作成

蓄積していくことが大切になります。

2 本県の主な取組
 (1) 「思考力・判断力・表現力」の育成

○講師派遣事業

アクティブ・ラーニング型授業の推進やICT活用等の各校が設定したテーマに応じ、専門分野の優れた知識・技能を有する外部講師を招聘し、授業の質の向上を図っています。

(2) バランスのよい英語4技能の育成
 ○教員の指導力向上事業

大学入試における英語外部検定試験の活用への対応を見据えた高校英語教員指導力向上のため、外部講師を招聘したティーチャートレーニング等の研修を大学と連携して実施しています。

(3) 21世紀型学力検討委員会

高大接続改革の動きを見据えた県内高校の具体的な取組等について組織的に検討するため、校長、担当教員等による委員会やワーキンググループを立ち上げ、大学入学共通テストのより詳細な概要や、高校での活動の記録の蓄積方法等に関する情報収集や方針の検討を行っています。

本年度の定期総会は6月9日（土）、鳥取県立倉吉体育文化会館において県教育委員会教育長山本仁志様を来賓にお迎えし、開催した。



【生徒・保護者の皆さんへ】
生徒の皆さんは、日々の学習を大切にして、授業理解を深めることと併せて、家庭でも自ら進んで応用問題に挑戦したり、興味のあることをさらに詳しく調べたりするなど、意欲的に学習に取り組んでみましょう。このような活動や体験を通して学んだことを整理して積み上げ、自分の考えや行動に活かせるようになることがますます重要になります。ぜひご家庭でも、これからのような姿勢で学習に取り組んでいくのか話し合ってみてください。

高大接続改革で育成を目指している能力は、これからの社会で子どもたちが活躍するために必要とされる力であり、県教育委員会でも高校と連携しながらそのような能力を身に付けるための授業改善を進めています。

山本教育長から、「今、教職員の働き方改革が大きなテーマとなっていて、教職員の時間外勤務の多くは部活動が主たる要因で、部活動の在り方を見直す必要がある。国のガイドラインが示されたが、PTAの皆様のご理解ご協力をい

ただきながら進めたい。
また、現1年生の大学受験から新しい受験制度となり、英語の民間試験導入や、自身の考えをまとめる記述問題などが取り入れられる。高校の授業でも考えさせることが重要となる。」などの情報をいただいた。
さらに、「鳥取県を元気にするには若者の力が必要で、それには故郷を支えることを誇りに思う教育が必要である。家庭や友達との体験が、やがては故郷を大切に思う心に繋がっていくのでは。」と、保護者への期待も込められた。

議事に入り、平成29年度の会務報告、会計決算及び平成30年度の事業計画、予算並びに高P連会則の改正、平成30年度全国高P連会長表彰の推薦について原案通り承認され、第61回中国・四国地区高P連大会鳥取大会の進捗報告についても了承された。

最後に役員改選があり、新会長に西川昌孝氏（鳥取西高校・新任）、副会長に大下哲夫氏（鳥取中央育英高校・新任）、秦野啓一氏（米子東高校・新任）が選出された。平成30年度新役員は下表のとおり。

平成30年度 県高P連会役員

役職	氏名	所属校
会長	西川昌孝	鳥取西
副会長	大下哲夫	鳥取中央育英
〃	秦野啓一	米子東
理事	上田博光	八頭
〃	松浦啓介	米子西
理事(校長協会)	田中正士	校長協会(倉吉農業)
〃(〃東部会長)	濱崎公嗣	鳥取湖陵
〃(〃中部会長)	藤田光司	倉吉総合産業
〃(〃西部会長)	田淵直記	境
〃	山本英樹	鳥取西
〃	穴戸靖雄	鳥取中央育英
〃	田中宏	米子東
監査	岩崎伸一	鳥取商業
〃	衣笠優子	倉吉東
〃	岡田啓介	米子南

平成29年度 鳥取県高等学校PTA連合会決算書

収入の部

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備考
負担金	4,652,000	4,647,489	△ 4,511	全日制 400円×11,336名=4,534,400円 定・特支200円×92名=18,400円 私学中高P連会 94,689円
補助金	1,166,000	1,166,000	0	県補助金 1,016,000円 教育公務員弘済会 150,000円
前年度繰越金	1,715,097	1,715,097	0	
繰入金	1,000,000	1,000,000	0	運営基金特別会計より
手数料	980,000	1,249,621	269,621	団体保険手数料 1,068,001円 全高P賠償費免活動費 181,620円
雑収入	903	27	△ 876	預金利息
合計	9,514,000	9,778,234	264,234	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額(A)	決算額(B)	増減(B)-(A)	備考
会議費	290,000	201,331	△ 88,669	総会、役員会等
事業費	2,185,000	2,030,251	△ 154,749	
研修費	650,000	503,189	△ 146,811	県指導者研究大会等
地区研修活動費	810,000	810,000	0	東・中・西部 各270,000円×3地区
活動費	90,000	82,855	△ 7,145	会報編集委員会経費、表彰関係
広報費	610,000	603,873	△ 6,127	会報発行(85・86号)
事業事務費	25,000	30,334	5,334	総会資料等
運営費	5,820,000	5,588,474	△ 231,526	
人件費	3,480,000	3,463,560	△ 16,440	事務局職員給与
旅費	1,020,000	990,370	△ 29,630	全国、中四会長・事務局長会議等
運営事務費	170,000	165,882	△ 4,118	消耗品、HP年間維持経費等
借用料	190,000	171,523	△ 18,477	事務局部屋使用料、光熱費、冷暖房費等
通信運搬費	210,000	181,023	△ 28,977	電話・郵券・宅配料等
渉外費	160,000	98,938	△ 61,062	前会長全国表彰関係経費
社会保険料	550,000	489,978	△ 60,022	社会保険料、労働保険料
雑費	40,000	27,200	△ 12,800	福利厚生、お茶代他
負担金	310,000	306,718	△ 3,282	全国高P連、中四高P連等
租税公課等	90,000	86,400	△ 3,600	法人県税・市税 81,000円、税理士 5,400円
退職積立金	100,000	100,000	0	
予備費	719,000	0	△ 719,000	
合計	9,514,000	8,313,174	△ 1,200,826	

研修会のご案内

◆鳥取県高等学校PTA指導者研究大会

期日：平成30年11月10日(土)

会場：琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」

内容：子ども達にたくましく生きる力を付けるために、保護者としてどう関わるか。

午前 講演会

講師 鳥の劇場主宰 中島 諒人氏

午後 シンポジウム

◆東部地区PTA研修会

期日：平成30年9月26日(水)

会場：白兔会館

内容：講演「子どもの能力を引き出す3つのルール
～親も子も幸せになる子育て～」

講師 橘 ころろ氏

◆中部地区高等学校PTA指導者研修会

期日：平成30年10月28日(日)

会場：倉吉総合産業高等学校

内容：講演「大人になるまでに身につけておきたい力」
講師 日本海情報ビジネス専門学校校長 中永 廣樹氏

◆西部地区PTA会長・校長合同研修会

期日：平成30年10月6日(土)

会場：米子南高等学校

内容：地元食材を使ったクッキング体験

平成30年度 県立高校PTA会長・校長名簿

所属校	会長名	校長名	所属校	会長名	校長名
鳥取東	網谷 憲治	尾室 真郷	倉吉農業	高濱 國彦	田中 正士
鳥取西	西川 昌孝	山本 英樹	倉吉総合産業	増田由紀江	藤田 光司
鳥取商業	岩崎 伸一	岩田 直樹	鳥取中央育英	大下 哲夫	穴戸 靖雄
鳥取工業	谷口 博昭	上原 正樹	米子東	秦野 啓一	田中 宏
鳥取湖陵	大森 芳久	濱崎 公嗣	米子西	松浦 啓介	富田 運一
青谷	尾崎 浩一	小川 勝	米子	福田 洋一	笹川 康詩
岩美	宮本 光博	山中 洋介	米子南	岡田 啓介	永野 智之
八頭	上田 博光	中島 靖雄	米子工業	椿 春子	田中 宏明
智頭農林	白岩 智之	大塩 朋	境	岩本 和貴	田淵 直記
倉吉東	衣笠 優子	御船 斎紀	境港総合技術	福井真奈美	小澤 敏正
倉吉西	山田 琢伸	稲毛 靖	日野	西村 和宏	内仲 弘

鳥取大会「シンボルマーク」決定

第61回 中国・四国地区高等学校PTA連合会大会
最優秀作品

制作の意図

鳥取県の“鳥”と大会テーマの“羽ばたく鳥”。親鳥が小鳥を守るように羽ばたいていきます。

背景には大山、鳥取砂丘、2019の文字の梨モチーフ、「星取県」と名乗るまでにきれいな星空を描きました。

星は未来を象徴しています。鳥の赤色は、親子の愛や子どもの未来に対する情熱を表しました。

各校へシンボルマークを募集したところ、33点の応募をいただきました。実行委員会において審査し、次のとおり決定いたしました。

シンボルマークは、今後、鳥取大会開催に向けPR他あらゆる場面で使用します。

賞	学校名	学年	氏名
最優秀賞	米子西高校	3	大石 怜央
優秀賞	鳥取湖陵高校	3	小山 未夢
〃	鳥取中央育英高校	3	浅田 真由
入選	鳥取湖陵高校	3	八峠 基哉
〃	同上	3	山崎 稜也

P T A活動紹介

青谷高等学校

本校は、青谷の子どもたちに勉強できる環境を作ってあげたいという地域住民の熱い想いから、昭和23年に設立されました。平成11年に単位制総合学科の高等学校に改編されました。今年度創立70周年を迎え、5月2日(水)に記念式典が行われたところです。式典後の記念講演会では「学年ビリーのギャルが一年で偏差値を40上げて慶応

大学に現役合格した話」のモデルとなった小林さやかさんが、「やってみなきゃわかんないっしょ」というタイトルで、あきらめずに努力し続けることの大切さを話してくださいました。この講演会に続き9月26日には本校P T A研修会として小林さやかさんのお母さんの橘こころさんに「子どもを能力を引き出す3つのルール」親も子も幸せになる子育て」と題して講演いただく予定です。

本校のP T A活動は事業を円滑に行うため、常任委員会に専門部を設けており、現在は「生活指導部」、「環境保

健部」、「人権・教育部」の3つの専門部に分かれて活動し、生徒や学校の教育活動を支援しています。



P T A常任委員会

「生活指導部」は主に、夏季休業中の街頭巡視や春と秋に行われる高校生マナーアップさわやか運動への参加など生徒の健全育成に取り組んでいます。

「環境保健部」は、学校祭で模擬店を出店したり、強歩大会の運営補助をしたりして生徒の健康面での支援に取り組んでいます。

「人権・教育部」は人権教育に関する研修会を実施したり、校外模範試験実行委員会を主宰したりと生徒の学力向上と人権意識向上に取り組んでいます。

また年に4回P T A会報「灯台」を発行し、P T A活動や学校行事、生徒の活動等をすべてのP T A会員に伝えています。

社会環境が大きく変化する中、子どもたちが豊かな社会性と優れた想像力を養い、自ら責任を持つて行動できる人間として成長していくことは、親たちの共通の願いです。そのために、子どもたちが意欲を持って生き生きと充実した生活を送ることができるようP T A活動を行っていききたいと思っています。

(文責 会長 尾崎浩二)



強歩大会

米子工業高等学校

本校は、大正12年に鳥取県立工業学校として創立され、今年96年目を迎える長い歴史を誇る工業高校です。幾多の変遷をたどり、現在は平成23年に竣工した新校舎で、各学年5クラス、560余名が学んでいます。

昨年度から、全学年とも、機械科(M)、電気科(E)、情報電子科(W)、環境エネルギー科(C)、建設科(建築コース(Ka)・土木コース(Kp))の5科2コースとなりました。

「地域社会・産業界に貢献する人材の育成」をミッションとし、「自律」「創造」「協働」の校訓のもと、厳しく自分を律し、社会人としてのエチケット・マナーを身につけ、実学を学び豊かな創造力を持った、他者を思いやり共に行動できる人材の育成を目指している学校です。

米工P T Aとしては、「楽しく元気に無理をせず盛り上げていこう」というモットーのもと、「総務研修部」「人権教育部」「広報部」の3部で生徒・学校をサポートする活動を行っています。

「総務研修部」では、P T A企業研修旅行を企画立案し、保護者の進路意識を深める活動を行っています。昨年は10月中旬に松江総合医療専門学校と山陰アシックス工業株式会社に見学に行きました。卒業生が元気に働いている姿を見て安心したり、製品製作にかかわる様々な苦労や工夫を知り大変勉強になりました。

また9月の米工祭では伝統の餃子・カレー・飲み物販売を行い、皆様から大変好評をいただきました。役員以外の皆様にも多数参加していただいています。



米工祭にて

「人権教育部」ではP T A主催の人権教育研修会の企画および運営、学校主催の人権教育講演会および本校人権教育への意見を募ったりP T Aとしての取り組みを協議しています。

「広報部」はP T A会報「鵬翔」を年3回発行し、各学期の行事や生徒の様子を会員の皆さんにお知らせしています。写真も多く掲載して、大会や行事での生徒の躍動する姿を伝えています。

生徒たちが、この米工を選択してよかったと思えるよう挑戦することを怠らず成長してほしいと思います。そして、彼らを一生懸命応援していくのが私たちP T Aだと思っています。

(文責 会長 椿 春子)

■全国高P連会長表彰■

開会式において表彰式が行われ、本県からは次の方が受賞されました。
誠にありがとうございます。

◆優良PTA文部科学大臣表彰

○団体表彰

鳥取東高等学校PTA

◆PTA活動振興功労者表彰

○個人表彰

池内 勝彦氏（元鳥取西高会長）

◆全国高P連会長表彰

○個人表彰

尾崎 宏之氏

（前倉吉総合産業高会長）

濱崎 恵氏（前岩美高会長）

○団体表彰

鳥取中央育英高等学校PTA

米子工業高等学校PTA

○役員等表彰

中井太一郎氏（前県高P連会長）

山本 千尋氏（前高P連事務局主事）

第68回全国高P連大会 佐賀大会報告

第68回全国高等学校PTA連合大会「佐賀大会」が平成30年8月20日（月）、21日（火）の2日間、佐賀県で開催されました。日本赤十字社の創始者、佐野常民氏の博愛の精神（人を愛し国を愛する心、慈しむ心）の大切さ「広めよう高めよう 慈しむ心」をメインテーマに開催されました。全国各地からおよそ9200名の参加があり鳥取県からは96名が参加しました。今年度は佐賀県内の佐賀市、唐津市、鳥栖市、嬉野市の4会場で行われ、メイン会場の佐賀県総合体育館で開閉会式や基調講演などが行われ、各会場へ映像配信されました。各会場では分科会やアトラクション、記念講演が行われまし

た。分散型の各地域の特色を生かした地元高校生や地元のPTA会員の方々による会場運営など親近感と温かみを感じる大会でした。

基調講演では、「レモンさんのビタミントーク！〜慈しみの愛言葉！We are シンセキ！〜」と題し、大阪大学の講師でラジオDJでもあるレモンさん（山本シユウさん）からの軽快なトークがあり、その話術に引き込まれました。分科会では第2分科会「進路指導とPTA」に参加しました。学校と保護者が協働するキャリア教育と題し4つの高校の事例発表がありました。高校、自治体、大学、同窓会との連携、そして、PTAの関わり方の大切さ、また子ども達のための活動や地域の方との子育て（教育）活動等の発表でした。唐津会場でのアトラクションで

は篠笛奏者・作曲家の佐藤和哉さんの演奏がありました。



記念講演では「高橋是清と耐恒寮の少年たち」と題し、唐津商工会議所会頭の宮島清一氏の講演をお聞きし、日本銀行総裁、大蔵大臣、内閣総理大臣を務めた高橋是清が耐恒寮の少年達に英語教師として

■PTA広報紙展示■

八頭高等学校 「八頭高だより」
米子西高等学校 「米西だより」



平成31年度各種研究大会等の予定

○鳥取県高等学校PTA連合会総会

6月 中部地区

○中国・四国地区高等学校PTA連合会大会鳥取大会

7月12日（金）とりぎん文化会館 梨花ホール

○全国高等学校PTA連合会大会京都大会

8月22日（木）、23日（金）

京都市「京都市勧業館みやこめっせ」他

○鳥取県高等学校PTA指導者研究大会は開催しません。

何を伝えてきたのか、また、その若者達がどう育っていったのか、そして唐津における英語教育に見られる明治初期の教育について現在入手できる史料をもとにお話しいただきました。自ら経験（体験）してきたことを伝えることの大切さを感じました。

最後に本年は県内各高校の会場・宿舍が分散していることもあり、鳥取県の参加者が一堂に会しての懇親会が実施できず残念でした。

次年度は、「Kyoから！未来を拓く」を受け継ぎ、創る新たなストーリーをテーマとして、京都大会が開催されます。県内から多くの参加があることを期待して報告いたします。

（文責 高P連副会長 秦野啓二）